

松江小だより

E-mail: matue2es@mctv.ne.jp

Tel:0598-21-0781/Fax: 0598-21-8215

◎全国学力学習状況調査の結果と今後の学力向上に向けての取り組みを報告します。

4月22日に6年生が実施した全国学力学習状況調査の結果は、国語・算数ともに全国平均を少し下回りました。この調査は、国語と算数の2教科のみで実施されたことや、限られた分野からの出題であったことから、この調査によってはかられるのは、「学力の特定の一部」にしか過ぎません。しかし、結果については真摯に受け止め、今後の授業改善に役立てていきたいと考えています。また、この調査と並行して、児童質問紙調査(生活意識や生活状況の調査)もありました。以下、本校の強みと弱みを併記しながら、今後の対策について報告します。

国語

【よかった点】

- ①具体的な状況が書かれている文章は、比較的よく読み取れている。
- ②自分の意見を考えて書く問題は、比較的よくできている。
- ③選択肢のある問題は、よくできている。

【よわかった点】

- ①漢字の読み書きが曖昧であったり、故事成語の使い方が間違っていたりすることが比較的多い。
例(祝うを「衣へん」で書いたり、勢いを「いきよい」と読んだりしている。)
例(五十歩百歩、百聞は一見にしかずの意味や使い方を間違えている。)
- ②「共通する観点」「引用する」「最もふさわしい」などの言葉づかいに慣れていないため、問題文の意味を正しく理解できない子どもがいる。
- ③前後の文章の関係を考えて、内容を読み取る力が弱い。
- ④条件に合わせて書く問題に慣れていない傾向にある。
例(・指定された文字数以内にまとめて書く・書き出しの言葉に続けて書く・文中の言葉に引用して書く・二つの文をまとめて書く・二つの文の共通点・相違点を考えて書く・自分の立場を考えて書く)
- ⑤後半の問題になると、正答率が低く無回答も多いことから、限られた時間内に問題を処理する力が弱い。

算数

【よかった点】

- ①繰り上がりのある二桁のたし算、3桁×1桁のかけ算、分数のたし算など、基礎的な計算は比較的よくできている。
- ②数量や図形の問題は、計算したり図形を描いたりなど、技能的な観点が比較的よくできている。
- ③短答式(答えだけを求めて解答する問題)の正答率が比較的高い。

【よわかった点】

- ①元の長さの小数倍、1㎡あたり的人数、図形を描く条件など、説明図と問題文を関係づけて答える力が弱い。
例(元の長さの0.4倍の長さ、8㎡に16人いる部屋、平行四辺形を描く条件)

- ②実生活のなかにある問題を、説明図と問題文を読み取って活用していく力が弱い。
例(示された分け方でスープを分けたとき、残りの30人にスープを分けることができるかどうかという問題)
(使いやすい箸の長さ1あた半という単位を使って、妹の箸の長さを計算する問題)
- ③後半の問題の無回答が多く、限られた時間内に処理する力が弱い。

【今後の対策】

- ①漢字・計算を繰り返し練習するだけでなく、ノートや日記・計算など、習ったことを日々の生活でも活用できるように指導していく。
- ②朝のチャレンジタイムや家庭学習等で、学力調査の過去問や県教委作成のワークシートを実施し、活用力をはかる問題に慣れさせていく。
- ③みえスタディチェック等で、一人ひとりの学習状況を把握し、個に合ったきめ細かな指導をしていく。
- ④「わかりやすく楽しい授業」をするために、授業の始めに「めあて」を提示し、子どもたちに何を勉強するのか見通しを持たせる。また、授業の終わりに「振り返り」をさせ、勉強して分かったことを自分の言葉で書く等の授業改善に取り組む。
- ⑤家庭学習・親子読書の推進を図るために、定期的にチェックシートを活用する。
- ⑥学力向上に向けた授業時数の増加を図るために、学校行事や総合的な学習を精選する。

児童質問紙調査

【よかった点】

- ①「今住んでいる地域の行事に参加していますか」については、約44%の児童が「参加しています」と答えました。(全国平均は、約38%)
- ②「授業では、学級の友だちとの間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか」については、約50%の児童が「そう思う」と答えました。(全国平均は、約47%)
- ③「新聞を読んでいますか」については、約32%の児童が週に1回以上読んでいると答えました。(全国平均は、約27%)
- ④「本やインターネットを使ってグループで調べる活動をよく行っていたと思いますか」については、約42%の児童が「そう思う」と答えました。(全国平均は、約35%)

【よかった点】

- ①「一日あたりに見たり聞いたりするテレビ・ビデオ・DVDの時間」については、3時間以上と答えた児童が約54%いました。(全国平均は約38%)
- ②「一日あたりにするゲームの時間」については、3時間以上と答えた児童が約30%いました。(全国平均は約17%)
- ③「一日あたりの家庭学習の時間(塾等も含む)」については、1時間以上と答えた児童が約49%いました。(全国平均は約62%)
- ④「読書は好きですか」については、「好き」と答えた児童が約36%いました。(全国平均は約49%)

【お願いと対策】

- ①テレビ・ビデオの視聴時間、ゲームをする時間等について、ご家庭で適切な時間を決めていただき、家庭学習や読書の時間を確保していただくようお願いいたします。
- ②家庭学習の手引きを参考にいただき、1・2年は20分～30分、3・4年は40分～50分、5・6年は、60分～70分をめどに、宿題・自主学習の見届けをお願いいたします。学校としても宿題の内容や量について検討していきます。
- ③余裕があるときには、親子読書等をしていただき、子どもが読書好きになるよう協力をお願いいたします。